

1. 事業の位置付け

事務事業名	花と緑のふれあい拠点整備事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	01-060103-030000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成15年度～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
「農の体験・交流の場」基本計画に位置付けた情報発信・直売施設などの整備を通じて、農業所得の向上や地産地消などを図ることで、地域農業が振興し、市民・県民の農業への理解が深まっています。		農業振興や農業理解を進めるため、農業者による事業研究会活動を通じて、情報発信機能を備えた直売施設や大型市民農園の整備、収穫体験農園機能の整備を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	事業研究会等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			12	24	12			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3箇年のふれあい拠点整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：（事業研究等）10%（施設整備等）0%、H20：（事業研究等）20%（施設整備等）10%、H21：（事業研究等）10%（施設整備等）50%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			10	40	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
「情報発信・直売機能整備研究会」を設置し、「情報発信・直売機能」の具体的な整備内容の研究・検討を行った。また、農産物直売の実証実験として「金田ふれあい市」を実施した。「大型市民農園機能」の整備は、「市民農園事業研究会」を設置し、税制の講習会等を実施するとともに、管理休憩施設等整備のため農地地権者と用地交渉を行った。「収穫体験農園機能」の整備は、米づくり体験事業を実施するなどの取組により、市民の農業への理解に寄与することができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県及び市で策定した「花と緑のふれあい拠点（仮称）構想」に基づき県・市が連携しながら進めている事業であり、必要性が高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市型農業の実践による地域農業の振興や市民等の農業理解の促進、地産地消や農業とのふれあいなど市民ニーズの実現のため、県・市等が連携しながら事業を進めており、有効性が認められる。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	本市が抱える農業に関する課題に対応するため、地域農業の振興及び地産地消の推進などを目的とし、農業者及び市民を対象にした事業を展開するものであり、妥当性がある。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	行政（県・市）とJA湘南等の農業関係団体や地域農業者、地域住民がそれぞれの役割分担の中で事業を総合的に展開するものである。	● 高 ○ 中 ○ 低

今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。本事業への理解を更に促進するとともに、行政以外の農業関係団体や地域農業者などに本事業への参加を引き続き促進することが必要である。

3. 年度別事業内容・事業費

（単位：千円）

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				事業研究会における研究	設計委託、用水路整備、フェンス設置など	各施設整備工事、農園・農道整備など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,733	6,427	193,060	0	0
事業費（A）		0	0	1,733	6,427	193,060	0	0
執行率（%）		0.00	0.00	92.67				
内訳	職員（人）	0.00	0.00	4.80	4.80	4.80	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費（B）		0	0	40,277	40,277	40,277	0	0
フルコスト（A+B）		0	0	42,010	46,704	233,337	0	0

4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

平成22年3月の県立花と緑のふれあいセンターの開園にあわせ、大型市民農園の開設、JA湘南の農産物直売施設の開業、更には、地元農業者が収穫体験農園の整備を計画しており、それぞれの施設整備に要する経費が必要となるため。

平成21年度取組方針

平成22年3月の県立花と緑のふれあいセンターの開園にあわせた大型市民農園機能などの各機能の整備に向け、各事業研究会等を通じて整備内容の調整等を行うとともに、事務的作業を進める。

課長コメント

本事業は、19年度から実現段階として準備、調整を行い、ほぼ予定通り成果を得た。今後は、22年の開設を目指し、農業者の参画を一層促すとともに、事業者等との調整を図り、農産物直売所、市民農園、収穫体験農園を実現し、地産地消の促進や安心安全な農産物の提供、市民の農業への理解を深めるため事業を展開していく。